

保証書

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼下さい。

形名	コード式インパクトドライバー SID-120AC		お買い上げ日	保証期間
			平成 年 月	1年
お客様	ご住所	〒		
	ご芳名			
	電話			
販売	住所 店名			

※上記欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

1、保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。

- (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
- (ロ) お買い上げ後の落下、引越、輸送等による故障または損傷。
- (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
- (ニ) 本書のご提示がない場合。
- (ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。

2、本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には当社までご相談下さい。

3、本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保存して下さい。

4、本書は日本国内においてのみ有効です。

総発売元

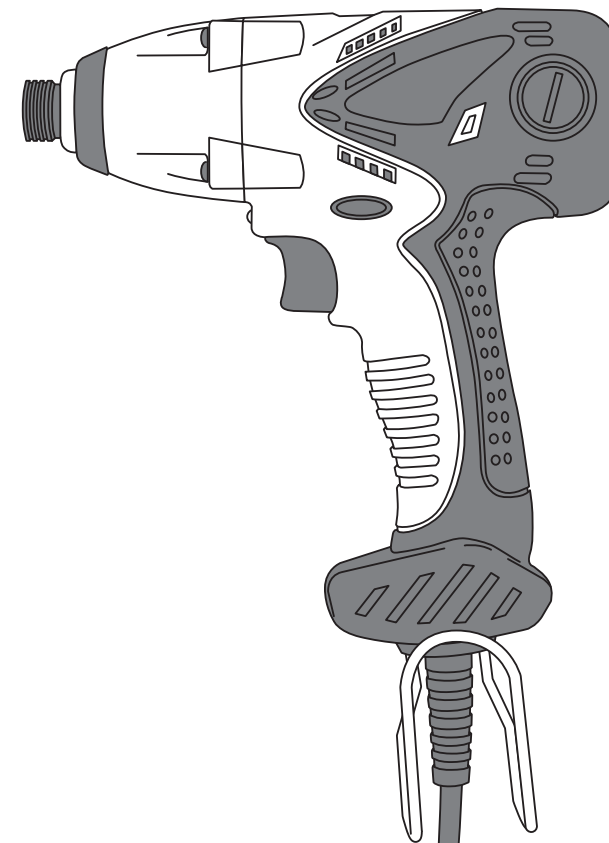
 藤原産業株式会社

情報サービスセンター	〒673-0433 兵庫県三木市福井2115-1	Tel.0794-86-8200(代) Fax.0794-83-5160
東京支店	〒333-0842 埼玉県川口市前川3丁目19-9	Tel.048-268-3939(代) Fax.048-268-9191
九州支店	〒841-0054 佐賀県鳥栖市蔵上町339-6	Tel.0942-81-2307(代) Fax.0942-81-2308
札幌営業所	〒003-0021 北海道札幌市白石区栄通15丁目8番36号	Tel.011-374-5528(代) Fax.011-374-5529
仙台営業所	〒984-0038 宮城県仙台市若林区伊在字東通り44-1	Tel.022-287-5739(代) Fax.022-287-5766
中部支店	〒471-0861 愛知県豊田市八幡町3-4	Tel.0565-34-3339(代) Fax.0565-36-1550
広島営業所	〒731-0137 広島県広島市安佐南区山本1丁目25-11	Tel.082-875-7211(代) Fax.082-850-0311



コード式インパクトドライバー

SID-120AC 取扱説明書



- この度は、コード式インパクトドライバーSID-120ACをお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございました。
- ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用下さい。その後、大切に保管して下さい。

目次

目次	1
安全上のご注意	2~4
コード式インパクトドライバーご使用上のご注意	5
各部の名称	6
仕様	6
使い方(準備・作業中・作業後)	7~9
保守・点検について	10~11
締付トルクに影響する要因	12



安全上のご注意

警告 安全確保のために

- 安全に正しくご使用いただくために、すべての取扱説明書をよくお読みいただき、安全にお使いください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」のすべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- 火災・感電・けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることが出来る所に必ず保管してください。
- 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。


















警告表示・注意表示について

- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生ずる被害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告 この表示の欄は、「使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 注意 この表示の欄は、「使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される」内容です。「注意」に記載された事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
注 この表示の欄は、製品の据付、操作、メンテナンスに関する重要な注意事項です。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

絵表示について





- お守りいただく内容の種類を、以下の絵表示で区分し、説明しています。

 この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。	 禁止	 分解禁止	 水ぬれ禁止			
 この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。	 電源プラグを抜く	 よく読む	 点検・確認	 保護メガネ着用	 防じんマスク着用	 防音保護着用
 この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。行為の内容によって、文字や図記号と組み合わせて表示しています。	 感電注意	 高温注意	 指に注意	 回転部注意	 火災注意	













電動工具を安全にご使用いただくために

警告







■作業場について





 作業場はいつもきれいに明るく保ってください。 ●ちらかった場所や作業台は事故の原因となります。 ●作業場は十分に明るくしてください。暗い場所や作業台は事故の原因となります。	
 禁止 作業場の周囲状況も考慮してください。 ●爆発を誘引することがある可燃性の液体、ガスや粉じんのある所では使用しないでください。電動工具はこれらを発火させることがある火花を発生します。 ●電動工具使用中は、作業員以外、特に子供を近づけないでください。注意が散漫になって、操作に集中できなくなることがあります。また、作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。	
 騒音防止規制について 騒音に関しましては、法令や各都道府県などの条例で定められた規制があります。ご近所に迷惑をかけないようにご使用ください。	

■電気に関する安全事項

		電源は正しく接続してください。感電の危険が低減されます。 ●電源コンセントは電源プラグに合致するものを使用してください。 ●電源プラグは改造しないでください。 ●アダプタプラグを併用する場合は、正しく接地(アース)してください。
		感電に注意してください。 ●電動工具を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠) ●電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
		コードを乱暴に扱わないでください。感電の危険が増大します。 ●コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。 ●コードを熱、油、角のどがったところや動くものに近づけないでください。 ●重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
		屋外使用に合った延長コードを使用してください。感電の危険が低減されます。 ●屋外で延長コードを使用する場合、キャプタイヤコード、またはキャプタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
		アース機構(アースクリップ、アース端子ねじ等)を有する電動工具は、必ず接地(アース)してください。 ●接地をしないと故障や漏電の時、感電する原因になります。 ●接地は、プラグの横から出ているアースクリップや本体のアース端子ねじにアース線を接続してください。 ●テスターや絶縁抵抗計をお持ちでしたら、アースクリップ、アース端子ねじと工具本体の金属外郭部間の導通を確認してください。 ●アース棒やアース板を地中に埋め込みアース線を接続するような電気工事は、電気工士の資格が必要ですので最寄りの電気工事に相談してください。 ●接地と共に感電防止用漏電遮断器の設置された電源に、接続されますことをお勧めします。 ●漏電遮断器や接地については、次の法規がありますので、ご参照ください。 労働安全衛生規則 第333条・第334条 電気設備の技術基準 第18条・第28条・第41条
		アース線をガス管に接続しないでください。 ●爆発のおそれがあります。 アース機構を有する電動工具に延長コードを使用する時は、アース線を備えた3芯コードを使用してください。 ●アース線のない2芯コードの使用は、感電の原因になります。
		
		二重絶縁構造 ●このマークを表示した製品は二重絶縁構造ですので接地(アース)する必要はありません。

■人的安全性



		油断しないで十分注意して作業を行ってください。一瞬の不注意で深刻な人的障害をもたらすことがあります。 ●電動工具を使用する場合は、自分が何をしているか、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況などを十分注意して、常識をたがらせて慎重に作業してください。 ●疲れていたり、アルコールや薬を飲んでいる場合は、電動工具を使用しないでください。
		安全保護具を使用してください。 ●作業時は保護メガネを着用してください。 ●粉じんの多い作業では防じんマスクを着用してください。 ●騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い(イヤマフ)などの防音保護具を着用してください。 ●屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。 ●また、必要に応じて、滑り防止安全靴、ヘルメットなど必要な安全保護具を使用してください。
		不用意な始動は避けてください。 ●電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。 ●電源につないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。 ●スイッチがオンになった電動工具のプラグを差し込むと、不意に回りますので危険です。
		調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。人的傷害をもたらすおそれがあります。 ●電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取り外しであることを確認してください。
		材料を加工する工具では、加工する材料をしっかりと固定してください。 ●加工する材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。(加工する材料を動かす製品は除く)

	無理な姿勢で作業をしないでください。 ●常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。	
		きちんとした服装で作業してください。 ●だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。 ●長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。 ●髪、服及び手袋などを回転部に近づけないでください。
		集じん装置が接続できるものは接続してください。粉じんを減少させることができます。 ●集じん装置が接続できる場合は、装置を確実に接続し、正しく使用してください。

■工具の使用と手入れ

		無理して使用しないでください。 ●用途に合った正しい電動工具を使用してください。異なる用途に無理に使用しないでください。 ●安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。 ●小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。
		●スイッチで始動及び停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。危険ですので、お買い求めの販売店に修理してください。
		次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。 ●可動部分などの位置調整を行う場合。 ●刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。 ●使用しない、または修理する場合。 ●その他危険が予想される場合。
		使用しない場合は、きちんと保管してください。子供や不慣れな者が使用すると危険です。 ●乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または錠のかかる所に保管してください。
		損傷した部品がないか点検してください。整備不良は事故の原因になります。 ●使用前に、安全カバーやその他の部品に損傷が無いか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。 ●可動部分の位置調整及び締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。 ●破損した安全カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。
		電動工具は、注意深く手入れをしてください。 ●安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。 ●握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。 ●注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。 ●電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。 ●延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
		点検・確認
		正しい付属品やアタッチメントを使用してください。 ●取扱説明書及びカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やケガの原因となる恐れがありますので使用しないでください。
		使用環境温度について ●25°Cでの使用を前提としています。なお、時折35°Cになることも想定しています。

■整備・修理

	電動工具の修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。 ●修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しただけでなく事故やケガの原因となります。修理は、お買い求めの販売店にお申し付けください。 ●電源コードが破損した場合、交換には専門知識が必要ですので、販売店にお申し付けください。 ●この製品は、該当する安全規格に適合しているので、改造しないでください。
	分解禁止

コード式インパクトドライバーご使用上のご注意

先に工具安全上の注意のべましたが、コード式インパクトドライバーとして、さらに次にのべる注意事項を守って下さい。

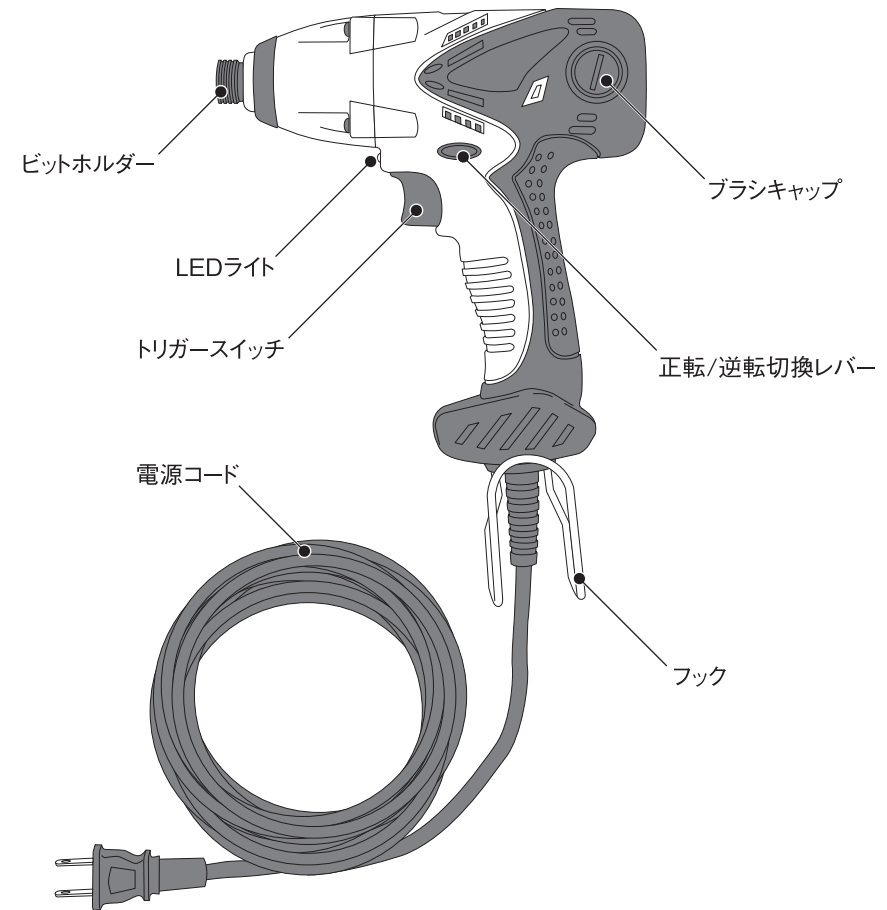
警告

- 作業する箇所に、電線管、水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめて下さい。
埋設物があると工具が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- 使用中は振り回さないよう本体を確実に保持して下さい。
確実に保持していないと、ケガの原因になります。
- 使用中は回転部や切りくずに手や顔などを近づけないで下さい。
けがの恐れがあります。
- 使用中、機体の調子が悪かったり異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼して下さい。
そのまま使用しているとケガの原因となります。

注意

- 工具類(キリなど)や付属品は取扱説明書に従って確実に取り付けて下さい。
確実でないとはずれたりし、けがの原因になります。
- 使用中は軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないで下さい。
回転部に巻き込まれ、けがの恐れがあります。
- 高所作業のときは下に人がいないことをよく確かめて下さい。
材料や本体などを落としたときなど、事故の原因になります。
- 細径ドリルは折れやすいので注意して下さい。
飛散して、けがの恐れがあります。

各部の名称



仕様

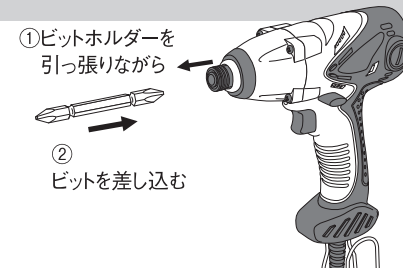
電源	単相交流100V	コーススレッド	φ4.2×75mm
消費電力	120W	普通ボルト	M5～M12
電流	1.5A	高力ボルト	M5～M10
本体質量	約1.1kg	回転数	0～2300min ⁻¹
コード長	5m	打撃数	0～3000min ⁻¹
絶縁方式	二重絶縁	最大締付トルク	120Nm
定格使用時間	30分		

使い方(準備・作業中)

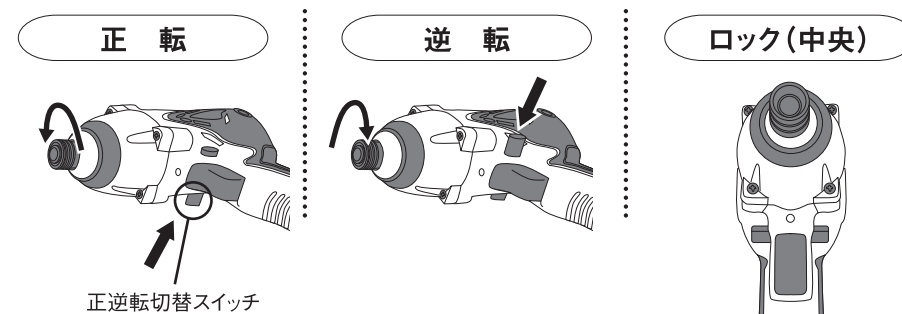
ご使用に際し、各都道府県等の条例で定める工場または事務所でご使用になる場合には、周囲に迷惑をかけないよう各条例で定める騒音規制値以下であることが必要です。必要に応じて、しゃ音壁を設けて下さい。

1. ビットを取付ける

(注意)
ビットを軽く引っぱって抜けないことを確認して下さい。

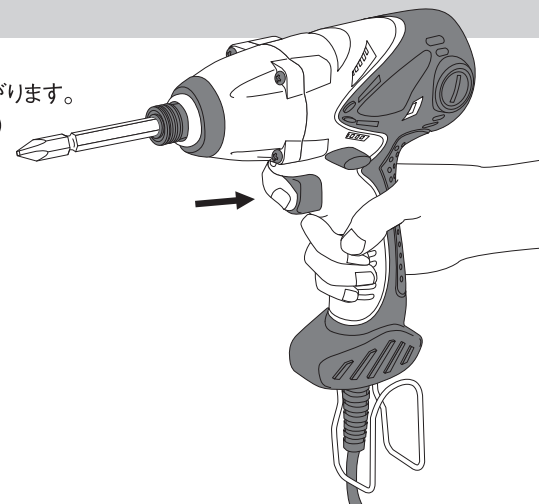


2. 正逆転切替スイッチで正／逆転を決める

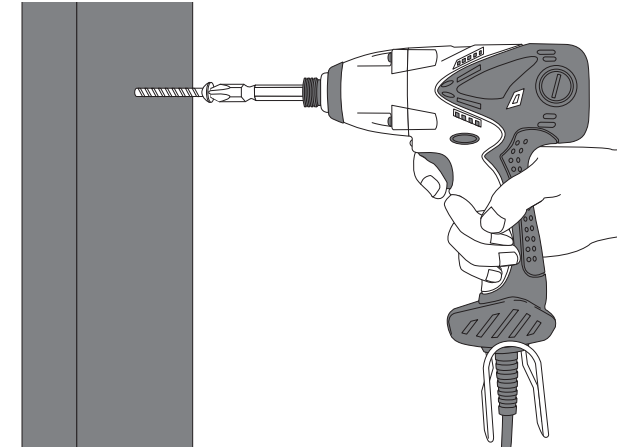


3. スイッチを入れる

●スイッチを押し込むに従って回転数が上がります。
(センター決め時は、ゆっくりスタートする。)



- (1)先端工具をネジまたはボルトに当てます。
- (2)スイッチを引き込みます。
- (3)止めるときは、スイッチから指を離します。スイッチから指を離すと、回転が瞬時に停止します。

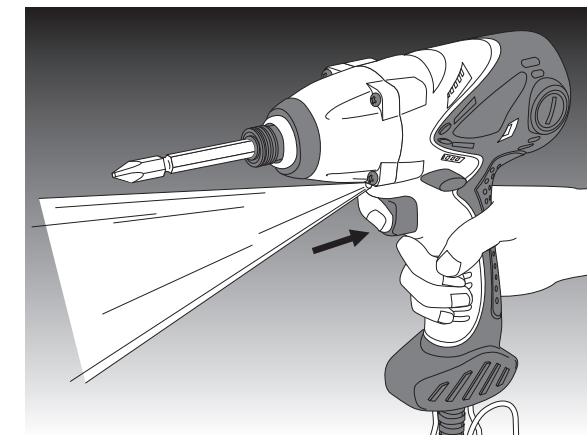


ポイント

1. スイッチを引き込む加減で、回転数が調整できます。
2. 木ネジを締め付けるとき、ネジ頭の面と材料の表面が同じ高さになったときにスイッチを離すと、ネジ頭が材料に入り込むことを防止できます。
3. 本体は、締め付けるネジに対して、まっすぐな状態で操作してください。
4. 硬い材料に大きなネジや長いネジを締め付けるときは、あらかじめ下穴をあけると、材料の割れや破損を防ぐことができます。
5. ネジの締め始めは、スイッチを少しだけ引いて低い回転数にし、徐々に引き込んで回転数を上げてください。最初からいっばいに引き込むと、ネジが倒れたりして危険です。低回転での長時間の作業は行わないでください。

LEDライト

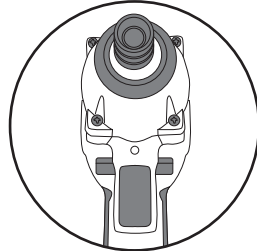
- スイッチを半押しすると、スイッチ上部にあるLEDライトが点灯します。
- スイッチを押している間はLEDライトが点灯します。
- スイッチを離すとLEDライトも消灯します。



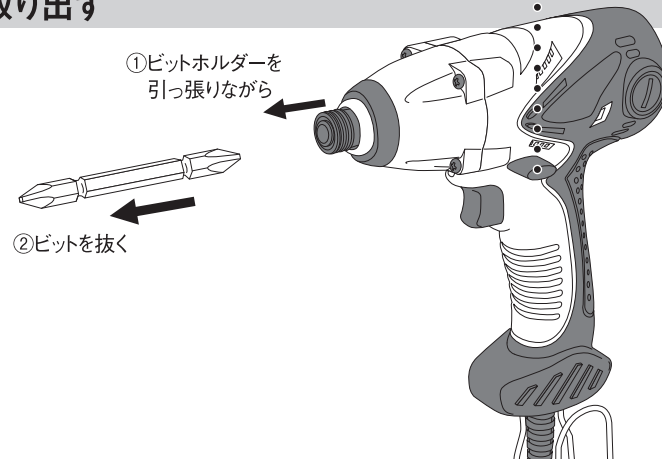
▲暗所での作業に便利な機能です。

使い方(作業後)

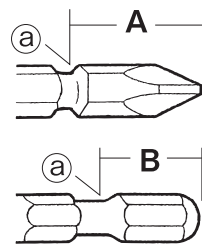
1.正逆転切替スイッチをロックにする



2.ビットを取り出す



ビットの溝寸法について



A=16mm・B=13mm

使用できます

A=11mm・B=9mm
の市販のビット・ソケット

使用できません

B=11.5のものは使用できません。

※ボール溝部(a部)のないストレートのビットは使用できません。
(使用中にビットが抜けたり、とりはずしが固くなる場合があります。)

鉄・コンクリートへの穴あけ作業はしないで下さい。ビットが折れてしまう恐れがあります。木工への穴あけ作業へのみご使用下さい。(鉄工ドリルは3mm以下の小径の穴あけ作業に便利です。)

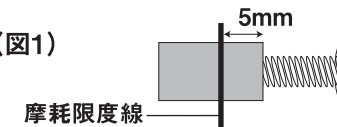
保守・点検について

警告

- 保守・点検・部品交換等のお手入れの前は、スイッチを切って、必ずプラグを電源から抜いて下さい。ケガや感電の原因になります。

カーボンブラシは時々、取り外しの上点検して下さい。
カーボンブラシが残り5mmにまで摩耗したら新品と取り替えて下さい。(図1)
この時、カーボンブラシがブラシホルダー内で前後にスムーズに動くことを確認して下さい。

(図1)



カーボンブラシの交換

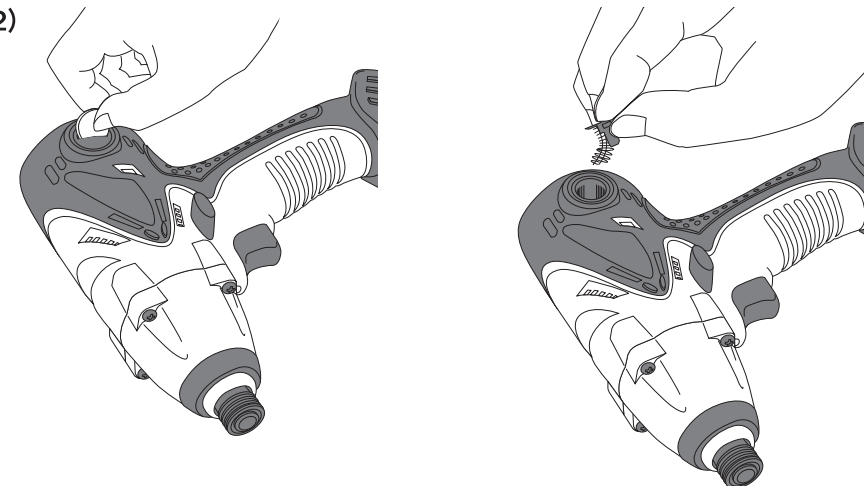


カーボンブラシは定期的に点検して下さい。
カーボンブラシの残量が残り5mmになりますとカーボンブラシの交換時期です。

- カーボンブラシが摩耗したときは、必ず左右両側とも交換して下さい。

- (1) 硬貨でブラシキャップを緩め、取り外して下さい。(図2)
- (2) 使用済みのカーボンブラシを引き抜きます。
- (3) 新しいカーボンブラシを挿入します。
- (4) ブラシキャップを取り付け、硬貨で締め付けます。

(図2)





警告 保守、点検、部品交換等のお手入れの前にスイッチを切って、プラグを必ず電源から抜いて下さい。けがや感電の原因になります。

■ビットの交換

- 保守、点検、部品交換等のお手入れの前にスイッチを切って、プラグを必ず電源から抜いて下さい。けがや感電の原因になります。

■各部取付けネジの点検

- ネジなどのゆるみがないか確認して下さい。もし、ゆるみがある場合は締め直して下さい。

■使用後の手入れ

- 油污れなどをふき取り使いやすい状態にしておいて下さい。乾いた布か石けん水をつけた布で本体を拭いて下さい。
- ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、水洗いは絶対にしないで下さい。

■作業後の保管

- 高温にならない乾燥した場所に保管して下さい。お子さまの手の届く範囲や落下の恐れがあるところはさけて下さい。

■修理について

- 本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命下さい。

その他、部品ご購入の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問などご遠慮なくお問い合わせ下さい。

締付トルクに影響する要因

1.締付時間

- 時間を長くすると締付トルクも増加します。ただし、余り長時間締めてもある値以上は増加しません。また、ボルトが折れることがありますのでご注意下さい。

2.ボルトの径が異なる場合

- 径が変わると締付トルクも変わります。一般に大きなボルト径ほど高くなります。

3.締付状態により

- 同じボルトでも、トルク係数(ボルトの仕上がり状態により決まる係数、ボルトメーカーで表示)、等級、長さによって締付トルクは変化します。
- 締付物(鉄骨等)の座面仕上がり、締付物同士の状態によっても変化します。
- ボルトとナットが共回りすると大巾にトルクは低下します。

4.市販ビットの使用

- 市販のビットで全長の長いもの、材質強度の弱いものは減少する場合があります。

5.ソケットのガタ

- ソケットの六角部が摩耗してガタが大きくなるとトルクは低下します。
- ボルトに合ったサイズのソケットを使用しないとトルクは低下します。

6.スイッチ(スピコンスイッチ)

- 引き込みきらない状態(フルパワーでない状態)で使用するとトルクは低下します。

7.接続アダプタの影響

- ユニバーサルジョイントやソケットアダプタを介して使用するとトルクは低下する場合があります。

無地ページ

無地ページ

